

令和5年度 事業計画

新型コロナウイルスの感染拡大が始まって4年目を迎え、繰り返される感染拡大とインフルエンザとの同時流行への対応が求められる一方で、社会経済活動を維持するという難しい局面に移行している。本会では、大規模接種会場におけるワクチンの充填とその指導的役割を担う薬剤師を派遣するとともに、宿泊療養患者・自宅療養患者への医薬品供給にあたり、会員薬局への協力要請と調剤・配送薬局リスト及び経口治療薬対応薬局リストの充実を図った。

また、全ての薬局が新型コロナウイルス抗原検査キットを取り扱うよう働きかけるとともに、取り扱い薬局のリストを作成して県民へ周知を図る等、新潟県医療調整本部及び県医師会、地域薬剤師会との情報交換と連携に努めた。

今後もワクチン接種の重要性の啓発、抗原検査キットの薬局販売、重症化リスクの高い方・高齢者・小児等への更なる正しい情報の発信等により、感染症対策における薬剤師としての役割を積極的に果たしていくことが求められている。

令和4年度調剤報酬改定では「患者のための薬局ビジョン」の実現に向けて、薬局の立地ではなく機能の評価、対物から対人業務へのシフト、かかりつけ薬剤師などの推進が色濃く反映された。このことは、2025年(令和7年)を目途に国が推進している「地域包括ケアシステム」において「かかりつけ」としての機能充実を図り、「全ての医薬品の供給拠点」としての役割を果たしていくことが強く求められていることを意味しており、地域住民・患者から薬局に何が求められているかを理解し、実行していかなければならない。本会としては、これらの点を念頭に事業を推進していく。

令和3年10月からオンライン資格確認の運用がスタートし、本年1月からは電子処方箋の運用も始まった。このシステムでは、HPKI(薬剤師資格証)の仕組みを活用してHPKIカードに収納されている電子証明書により調剤済み電子処方箋の登録時に薬剤師が電子署名を付与することを基本としている。県民への正しい情報発信を図るとともに、全ての薬剤師へのHPKIカードの普及を急ぐなど、急速に進む医療ICT化に薬局・薬剤師が対応できるよう情報発信を行っていく。

本年10月に北陸信越薬剤師大会が新潟市で開催されるとともに、令和8年には日本薬剤師会学術大会の新潟市開催が決定した。両大会の成功に向けて万全の準備を進めるとともに、会員への学術発表の機会を提供するため、地域薬剤師会や薬科大学及び新潟県等との情報共有と協力体制を強化する。

医薬品の供給不足と出荷調整は、薬局における医薬品供給に甚大な影響を及ぼしている。本会では、JGA(日本ジェネリック製薬協会)及び医薬品卸業者等へ「安定供給等」の申し入れを行うとともに新潟県や県医師会等との情報共有に努めた。日本薬剤師会においても厚生労働省、日本薬剤師連盟、JGA、日本医薬品卸売業連合会など関係各所に対し、医療現場が困らないよう、「代替薬の確保」、「適切な供給調整」、「薬局・医療機関への的確かつ迅速な情報提供などの実施」などを継続的に申し入れているが、現時点で影響範囲は予想を超えて広範囲に及んでおり、直ちに十分な量の代替え薬の確保は容易ではないと思われる。これらの問題に加え、世界各地の紛争やエネルギー資源不足等の複雑な外的要因による物価高騰や医療材料の供給不足等、多くの問題を抱える中ではあるが、「患者のための薬局ビジョン」の精神に則り、2025年(令和7年)に向けた「地域包括ケアシステム」への取り組みを着実に進める。さらには2040年(令和22年)をピークとする超高齢化社会を見据え、目先の議論に終始することなく、薬剤師がその職能を発揮して県民の健康増進に寄与するため、以下に掲げる事業に取り組むこととする。

1 組織強化対策

(1) 会員増強対策の推進(継続)

組織強化の基盤である会員の増加策として、会員証の発行、「勤務者(B)会員」及び「賛助会員」の加入促進を図る。

(2) 若手リーダーの養成(継続)

若手薬剤師の組織強化を目的とした青年部の活動を支援するとともに、県薬事業への積極的な参加を促す。

(3) 青年部活動の活性化(拡充)

- ① 青年部員の交流等を目的として定例集会を開催する。
- ② ビジネスチャット等を活用して薬剤師業務等に関する部員同士の相談できる場を提供する。
- ③ 若手薬剤師の資質向上を図るための研修会を開催する。
- ④ 中学生・高校生を対象とした薬剤師の広報資材等を作成して、学校薬剤師として活動する部員による広報活動を行う。
- ⑤ 薬物乱用防止の啓発と地域薬剤師会との連携強化を図るため、地域薬剤師会からの依頼により地域活動等に協力する。
- ⑥ 交流イベント等により、部員、会員等相互の親睦を図る。
- ⑦ 新潟市で開催する北陸信越薬剤師大会においてブース出展を行うとともに学術発表を行う。
- ⑧ SNSを活用した外部広報について検討するとともに、フェイスブックや県薬ホームページ等を活用し、青年部活動の広報に努める。
- ⑨ 青年部名簿を作成し、部員に送付等するとともに、新入部員をメールマガジン等で随時紹介して、部員同士の繋がりを強化する。

(4) 地域薬剤師会事務局の支援(継続)

地域薬剤師会事務局体制に応じた支援策を講じて、地域活動の充実・強化に努める。

(5) 薬剤師関係団体との連携(継続)

病院薬剤師会等の薬剤師で構成される関係団体との連携強化に努める。

(6) 事務局機能の強化(継続)

- ① 複雑・多様化する業務に対応するため事務局の体制強化等を図る。
- ② 人材育成のため職員研修の充実を図る。

2 災害等対策の推進

(1) 災害対策に係る整備及び啓発(継続)

- ① 平時の防災対策、災害時の対応、災害医療の制度等について、新潟県病院薬剤師会及び新潟大学医学部災害医療教育センターと共催により研修会を開催して会員へ情報提供を行う。
- ② 本会と地域薬剤師会が連携して活動できるよう会議等を開催し、防災対策及び災害時の対

応等について情報交換、情報収集を行う。

- ③ 「災害対策マニュアル」に則り、災害発生時の情報伝達体制の確立と発生時の初期対応の確認等を目的とした訓練を実施する。
- ④ 災害発生時に県薬会館における災害対策本部の設置や感染症対策に必要となる備品等を整備する。

(2) 行政等との連携協力体制の整備(継続)

- ① 新潟県災害医療連絡協議会への参画等により、行政及び他団体との連携体制の推進を図る。
- ② 新潟県等が行う防災訓練に参加する。
- ③ 新潟県が行う安定ヨウ素剤の事前配布計画の策定に参画するとともに、地域薬剤師会と連携して薬局での事前配布等に協力する。
- ④ 新潟県等が開催する災害・感染症対策関連の会議に出席し、意見交換や情報収集を行う。

(3) 災害時の救援活動等への協力・対応(継続)

- ① 災害時等におけるチーム医療への薬剤師の積極的な参加を強化するため、医師会等との連携を図る。
- ② 災害時等における医薬品等の確保・供給のあり方について検討する。

(4) 新型コロナウイルス感染症への対応(継続)

- ① 新型コロナウイルス感染症等対策について、行政、三師会及び日薬と連携を図り、情報収集を行うとともに、会員への情報提供に努める。
- ② 本会の対応を検討するため会議を開催する。

3 試験検査の実施

(1) 薬局等の医薬品品質管理の支援(継続)

- ① 薬局等からの委託による医薬品の計画的試験検査を実施する。また、日薬が行う医薬品試験等の事業に協力する。
- ② 薬局等からの医薬品検査等の依頼に応じて検査を実施する。

(2) 研修会等への参加(継続)

- ① 試験検査の技能向上のため日薬の試験検査センター技術講習会に参加する。
- ② 精度管理試験や厚生労働省が実施する外部精度管理試験などに積極的に参加する。

4 医療・介護保険制度への対応

(1) 保険薬局研修会の開催(継続)

薬局が適正な保険請求を行う等の質的向上を目標とした研修会を開催する。

(2) 集団指導、個別指導への立会い(継続)

関東信越厚生局及び新潟県の保険薬局指導に立会い、当該指導の円滑な実施と適正な保

険請求事務の推進に努める。

(3) 「保険薬局だより」の作成(継続)

会誌「ジャーナル」等により保険調剤に関する情報等を会員へ発信する。

(4) 社会保険等に係る会議・研修会等への参加(継続)

- ① 「関東信越厚生局管内10都県薬剤師会社会保険担当者連絡協議会」へ参加し、関東信越厚生局の各都県事務所による指導計画等の情報交換を行う。
- ② レセプト審査委員の審査基準を明確にするとともに国保・社保両審査会間の質的平準化を図ることを目的として情報交換会を開催する。

(5) 令和6年度調剤報酬改定への対応(隔年)

- ① 令和6年度調剤報酬改定について会員に対して伝達講習するため、日薬主催の令和6年度調剤報酬等改定説明会に参加する。
- ② 令和6年度調剤報酬改定に関する説明会を開催して、会員等へ適正かつ即時性のある情報提供に努める。

5 薬局のかかりつけ機能強化推進

(1) かかりつけ機能強化に向けた薬剤師研修事業の実施と研修効果の向上(拡充)

薬局のかかりつけ機能強化に向け、以下の研修事業を実施する。実施にあたっては、研修効果の向上を図るため、eラーニング研修を導入、組み合わせて行う。

- ① 「無菌調剤に係る基礎研修会」及び「無菌調剤室における実技研修」
- ② 「薬学的アセスメントの基礎研修(仮)」及び「薬学的アセスメント症例検討(仮)」
- ③ 「薬薬連携に係る合同研修会」等及びモデル地域における「薬薬連携における情報交換会(仮)」

(2) 医薬品等の供給拠点としての体制を整備するための研修事業の実施(継続)

医薬品等の供給拠点としての体制を整備するため、以下の研修事業を実施する。

- ① 「オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に係る研修会」
- ② 「健康サポートのための多職種連携研修会(研修会A)」
- ③ 「薬剤師のための認知症対応力向上研修会」
- ④ 「高度管理医療機器販売等に係る継続研修会」

(3) かかりつけ機能強化、対人業務の充実に向けた薬局に対する周知・啓発(拡充)

- ① 薬剤師が把握した患者の服薬状況等に関する多職種への情報提供及び処方提案等に関する好事例を収集し、会員に情報共有を行う。
- ② 「薬と健康の週間」に合わせ、会員に服薬フォローアップの実施強化を呼びかけるとともに、県民へ薬局の機能に関する周知、啓発を行う。

(4) 医療安全対策に係る研修の開催(継続)

県病薬と共催し安全管理責任者の任務と医療安全をテーマとして「リスクマネジメント研修会」を開催する。

6 地域包括ケアシステムにおける医薬品提供体制等の整備

(1) 地域包括ケアシステムの体制整備に向けた多職種連携、薬局の役割の啓発(拡充)

- ① 地域における薬局業務に関する多職種を交えた検討会議を開催する。
- ② 薬剤師の職能・訪問業務に関する多職種の理解を図る、「おくすり相談会」に薬剤師を派遣する。
- ③ 県内の薬局の在宅医療の推進、無菌調剤等応需体制の整備に向け、地域薬剤師会担当者を対象とした会議を開催する。

(2) 介護予防等の地域活動の推進、支援(継続)

- ① 「介護予防のための地域ケア個別会議」に参画する新任助言者を開催する。
- ② 新任助言者の育成・支援を行うため、「介護予防のための地域ケア個別会議」へ見学者を派遣する。
- ③ 薬剤師の助言者の資質向上に向け、スキルアップ研修の提供と薬剤師間の情報交換会を開催する。

(3) 在宅医療に関わる薬局の体制強化(継続)

- ① 日本在宅医療連合学会大会へ参画する。
- ② 在宅医療に関わる多職種から成る「在宅ケアを考える集いin越後」に実行委員を派遣し、集い開催に参画する。

7 薬剤師養成のための薬学教育への対応

(1) 実務実習受入体制の整備と指導薬剤師の資質向上(拡充)

実務実習生受入薬局への支援を強化し、受入体制の整備を図るため以下の事業を実施する。

- ① 実務実習の質の向上と相互の理解を深めるため、実務実習に携わった指導薬剤師と薬学生による実務実習報告会を実施する。
- ② 認定実務実習指導薬剤師を対象とした養成ワークショップ、養成講習会及びアドバンスワークショップを開催する。
- ③ 薬学生実務実習の環境整備やワークショップの円滑な実施等を協議する関東地区調整機構の会議や日薬全国会議・関東地区ブロック会議に参加する。

8 地域保健対策の推進

(1) 薬事啓発事業の推進(拡充)

- ① 地域の健康維持と保健衛生の向上に資するため、新潟県からの補助事業として「県民のための薬のセミナー」を開催するとともに、主催者を対象にニーズの把握及び事業評価を行うためのアンケートを実施する。
- ② 「県民のための薬のセミナー」において県民への薬事啓発に資する広報チラシ等を作成して提供する。

- ③ 薬事衛生指導員のスキルアップを目的とした意見交換会を開催する。
- ④ 新任の薬事衛生指導員の資質向上等のため説明動画を作成する。
- ⑤ 地域薬剤師会や薬事衛生指導員の協力を得て、関連団体が主催するイベント等において公開講座の開催やブース出展等により、医薬品の適正使用や薬剤師の職能について県民への啓発を行う。
- ⑥ ジェネリック医薬品について県民へ正しい知識の普及啓発を図る。
- ⑦ お薬手帳や、訪問薬剤管理指導、かかりつけ薬局・薬剤師、健康サポート薬局等について資材を活用して県民への啓発を行う。

(2) 薬物乱用防止事業の推進(継続)

麻薬・覚せい剤等の薬物乱用防止及び医薬品の正しい知識の啓発・普及を図る。

(3) 自殺予防対策の推進(継続)

- ① ゲートキーパーとしての薬剤師の意識向上や実践的なスキル習得を図り、自殺予防対策にかかる適切な対応を行う人材を養成するため研修会を開催する。
- ② 薬剤師のゲートキーパー養成のため、ワークショップの講師との意見交換会を開催する。

(4) 禁煙対策の推進(継続)

地域で開催するイベント等で禁煙支援についての啓発資材を配布して県民への広報・啓発を図る。

9 ドーピング防止対策の推進

(1) ドーピング防止に関する啓発・広報活動の推進(継続)

三師会や新潟県体育協会等と連携を図り、ドーピング防止活動を推進する。

10 医薬品販売制度への対応

(1) セルフメディケーション推進に関する啓発活動の推進(継続)

- ① 健康サポートのための薬剤師の対応研修会(研修会B)を開催する。
- ② OTC医薬品に関する県民向け資材を活用し、啓発活動を行う。

(2) 医薬品販売制度への対応(継続)

- ① 全ての薬局等における医薬品販売制度の法令遵守の徹底に向け、日本薬剤師会が実施する自己点検に協力して実施し、実態の把握と改善に努める。
- ② 新潟県医薬品登録販売者協会の登録販売者研修会へ講師派遣等により共催する。

11 医療ICT化への対応

(1) 医療ICT化の促進及びICTの活用(新規)

- ① オンライン資格確認や電子処方箋、オンライン服薬指導等に関する情報提供により、医療ICT化への対応を促進する。
- ② 日薬研修プラットフォームを導入により薬剤師の自己研鑽を支援し、資質向上を図る。

12 薬局製剤の推進

(1) 薬局製剤・漢方の啓発(継続)

薬局製剤及び漢方に関する日本薬剤師会等からの情報を会員へ提供して啓発を図る。

13 電話相談事業の推進

(1) 電話相談の対応(継続)

フリーダイヤルの活用により、県民からの薬に関する電話相談に応じ、県民への医薬品等に関する知識、正しい使い方等の啓発・普及を図る。

14 学術研究・生涯教育の推進

(1) 学術研究の支援(継続)

会員の研究発表を支援するため、新潟県病院薬剤師会及び新潟薬科大学と共催して新潟薬学会を開催する。

(2) 薬剤師生涯学習の推進(継続)

- ① 効果的な薬剤師の生涯学習を推進するために、地域薬剤師会と連携して会員の生涯学習の環境整備を図る。
- ② 他団体と共催して研修会を開催するとともに、他団体が主催する研修会等を後援して、会員の生涯教育の充実を図る。

(3) 薬剤師学術大会への役員等の派遣(継続)

日本薬剤師会学術大会へ役員等を派遣するとともに、会員へ情報提供を行う。

15 広報・情報提供活動の推進

(1) 会誌「ジャーニファ」の定期刊行(継続)

会誌「ジャーニファ」を年4回発行し、学術的研鑽・会員の交流の場等になるよう寄稿を積極的に働きかけ、掲載内容の充実に努める等、本会の活動の広報を強化する。

(2) ホームページの管理(継続)

- ① 新潟県薬剤師会に関する情報発信のためにホームページの管理及び内容の充実を図る。
- ② 会誌「ジャーニファ」等を電子媒体で閲覧できる体制を整備する。

16 学術研究倫理審査への対応

(1) 学術研究倫理審査の実施(継続)

人を対象とする生命科学・医学系研究を倫理的及び科学的観点から審査するために学術研究倫理審査委員会を開催する。

(2) 研究倫理に関する研修等の支援(継続)

- ① 研究倫理に関する研究者向けの研修会を開催する。

- ② 日薬が主催する研究倫理に関する全国担当者会議等に参加する。

17 地域薬学ケア専門薬剤師制度に係る研修調整

(1) 地域薬学ケア専門薬剤師制度に係る研修調整(継続)

地域薬学ケア専門薬剤師制度に係る研修の円滑な実施に向け、基幹施設と連携施設との調整を行う。

18 部会活動の推進

(1) 学校薬剤師部会(継続)

環境衛生検査及びくすり健康教育等学校薬剤師に関する研修会を開催する。

(2) 病院診療所薬剤師部会(継続)

薬局薬剤師と病院薬剤師の連携強化のため、以下の事業を実施する。

- ① 中小・療養病院の薬剤師の質向上のため研修会を開催する。
- ② 診療報酬または地域連携に関する研修会を開催する。
- ③ 県薬が発信するメールニュース等を病院・診療所に勤務する薬剤師へ配信し、情報共有を図る。
- ④ 県内施設における病院薬剤師数の充足率及び課題の調査を実施する。

(3) 卸勤務薬剤師部会(継続)

医薬品卸に勤務する薬剤師の自己研鑽のため、実務に即した研修会等のより一層の充実と、行政や薬学教育協議会等との連携を強化した活動を実践する。

19 三師会等関係団体との連携

(1) 三師会との連携(継続)

- ① 新潟県における医療、保健、福祉の向上に寄与するため、新潟県三師会連絡協議会に参画して、関係団体との連携を強化する。
- ② 三師会社会保険担当理事連絡協議会に参画し、各師会における指導状況等について情報交換を行う。
- ③ 適正な保険請求事務の推進に貢献するため、三師会・国保連合会・支払基金保険事務懇談会に参加する。

(2) 新潟県民医療推進協議会との連携(継続)

新潟県民の健康の増進と福祉の向上を図るため、新潟県における医療・介護・保健及び福祉行政の拡充強化をめざして、三師会等関係団体で構成する新潟県民医療推進協議会に参画して連携を強化する。

(3) その他の関係団体との連携(継続)

- ① 新潟県健康づくり財団
- ② 新潟県歯科保健協会

- ③ 新潟県看護協会
- ④ 新潟県栄養士会
- ⑤ 社会保険診療報酬支払基金新潟支部
- ⑥ 新潟県国民健康保険団体連合会
- ⑦ 新潟県後期高齢者医療広域連合
- ⑧ 新潟県スポーツ協会
- ⑨ 新潟県学校保健会
- ⑩ 新潟薬科大学
- ⑪ その他関係団体

20 北陸信越ブロック薬剤師会との連携

(1) 北陸信越ブロック連絡協議会への参加(継続)

北陸信越ブロック連絡協議会に出席して、北陸信越ブロックの各薬剤師会と連携を図り、情報交換に努める。

(2) 日薬(北陸信越)ブロック会議への参加(継続)

日薬(北陸信越)ブロック会議に出席し、日薬事業の確認と日薬及びブロック内の情報・意見交換を行う。

21 北陸信越薬剤師大会及び北陸信越薬剤師学術大会への対応

(1) 北陸信越薬剤師大会及び北陸信越薬剤師学術大会の開催(新規)

新潟県において北陸信越薬剤師会と共催して第63回北陸信越薬剤師大会及び第56回北陸信越薬剤師学術大会を開催する。

(2) 北陸信越薬剤師大会及び北陸信越薬剤師学術大会に関する情報提供(継続)

北陸信越薬剤師大会及び北陸信越薬剤師学術大会の開催に関する情報を会員へ提供して演題発表等を支援する。